

## 平成26年第4回定例会 一般質問通告一覧表

氏名(受付日時)	番号	質問事項	質問の具体的な内容
<b>1. 蜂須賀千雅</b> 11月14日 8:30	1	危険ドラッグ汚染の実態と対策について	① 現状について ② 課題について ③ 今後の取り組みについて
	2	在宅を含む終末期患者家族への対応と、市民への「終活」を考える機会の提供について	① 現状について ② 課題について ③ 今後の取り組みについて
	3	産業まつりについて	① 今年度の来場者数と、過去における来場者数の推移について ② 過去と今年度の課題と課題解消の取り組みについて ③ 開催場所について(他の場所での開催についての検討は)
<b>2. 根岸 聡彦</b> 11月14日 8:31	1	東大和市の下水道事業について	① 市内の下水道の状況について ア 現状に対する認識は イ 現時点で把握している課題は ② 東大和市下水道総合計画について ア 下水道総合計画が目指すものは イ 計画の実実施スケジュールと現時点で把握している課題は ③ 下水道事業における今後の課題と展望について ア 耐震化、延命化、更新のタイミングは
	2	介護予防の取り組みについて	① 具体的な取り組み内容について ア 現状に対する認識は イ 期待する効果は ② 介護予防リーダーの育成について ア 現状における認識は イ 今後のビジョンは
	3	学校教育について	① 市内の小中学生の学力について ア 現状に対する認識は イ 今後取り組むべき課題は ② 「教育の日やまと」について ア 開催の目的と効果は イ 今後のビジョンは
<b>3. 床鍋 義博</b> 11月14日 8:32	1	3市共同資源化事業について	① 3市共同資源化事業基本構想及び今後の予定について ② 施設整備地域連絡協議会の進捗状況と今後について
	2	都市マスタープランについて	① 進捗状況と今後の予定 ② 市民の意見の反映について
	3	図書館の運営について	① 図書館の盗難や破損等について ② 中高生が自習できるスペースについて ③ レファレンス室の稼働と開放について

	4	冊子「平成26年度東大和市の教育」について	① 平成26年度教育委員会の基本方針について ② 東大和市学校教育振興基本計画について ③ 文化財の盗難・破損・保護について
	5	産業振興政策について	① 商工業・農業についての取り組みについて ② ふるさと納税の活用について ③ 中小企業大学校の活用について
4. 中野志乃夫 11月14日 10:47	1	コミュニティバスについて	① シルバーパスを適用しない理由は何か。 ② 高齢者に配慮した料金を設定できないか。
	2	市民文化の発展と観光のまちづくりについて（歴史的観点から）	① 市民美術園開園のスケジュールはどうなっているか。 ② 郷土史研究の更なる充実に向けて、里正日誌の完成と市内古文書発掘のPRを ③ 友好都市・喜多方市と明治時代の自由民権運動の共同研究を ④ 戦災建造物の価値と意義を広めるためにも国内外での調査研究活動の実施を
5. 東口 正美 11月18日 13:08	1	市道第1号線道路改良工事について	① 平成27年度・28年度に予定されている道路改良工事について伺います。 ア どのような工事が行われるのか。 イ 歩道の段差については、どのような改良が行われるか。 ② 平成29年度以降の整備の予定について
	2	公園長寿命化計画・特色のある公園づくりの方針作成と上仲原公園の今後のあり方について	① 公園長寿命化計画について伺います。 ア 計画の対象となる公園の選定について イ 長寿命化計画の策定の手順と実施について ② 特色のある公園づくりの方針作成について伺います。 ア 長寿命化計画との関係性はどのようになっているのか。 イ 対象となる公園は ③ 上仲原公園の今後のあり方について伺います。 ア 長寿命化計画はどのようになっているか。 イ 今後、さらに魅力ある公園とするために市ではどのような考えがあるか。 a サッカーコートを作り、スポーツ公園とする事はできるか。 b 防災公園としての機能強化はできるか。 c 周辺の公園（清原西公園・六小南こども広場）と一体的に整備することであらゆる世代に対応できる公園にできるか。
6. 御殿谷一彦 11月18日 14:14	1	マイナンバー制度対応について	① 目的と導入に向けてのスケジュール ア 最新のスケジュール イ 番号関連4法案について、その認識 ウ 社会保障・税番号制度の導入目的は何か。 ② 国等の対応状況と市の対応状況 ア 提供するサービスの概要 イ 市のシステム整備状況 a 住基システム、税務システム、統合宛名システム ウ 中間サーバーの状況 エ マイナンバーカード発行について a スケジュールと発行手数料

			<p>③ マイナンバー制度での導入される項目 ア 制度として実施する項目と効果について イ マイポータル機能について</p> <p>④ 市の独自サービスについての検討は ア プッシュ型サービス機能活用 イ コンビニエンスストアでの証明書発行 ウ 事務合理化について</p> <p>⑤ 職員教育について</p> <p>⑥ 広報宣伝活動における市の役割</p>
<p>7. 関田 貢 11月19日 8:42</p>	1	健康都市宣言について	<p>① 実現するため研究してまいりたいと答弁がありました。どのように検討され今日までどうなっているのか。</p> <p>② 他の先例市についてはどのようなまちがあるか。</p> <p>③ 東大和市健康都市宣言の実施について</p>
	2	東大和元気ゆうゆう体操について	<p>① 市民に広く普及させるために出来た、2011年度制作した、ビデオについてお伺いします。 ア 制作費はどの位かかったのか。 イ 何本制作されたのか。</p> <p>② 平成24年2月作成したパンフレットについて ア 制作費と部数はどの位か。</p> <p>③ 東大和元気ゆうゆう体操ビデオとパンフレットの販売実績はあるのか。</p> <p>④ 介護予防リーダー養成講座の継続について ア 毎年実施して、リーダー育成をお願いしたいと考えるがいかがか。 イ 多くのリーダーを育成することが、元気ゆうゆう体操の普及につながる事業に成長させたいと思いますが市の考えをお伺いいたします。</p>
	3	病院の施設利用について	<p>① 市内に総合病院の実現という点で東大和病院に、標榜科として15科あるが小児科がなく、増設についてお願いが出来ないのか。</p> <p>② 市内の人工透析者が東大和病院で受けることができるようお願いが出来ないのか。</p>
<p>8. 中間 建二 11月19日 12:51</p>	1	ちょこバスの運行ルートの改善について	<p>① 新ルートによる運行開始の見通しは</p> <p>② タウンミーティングで寄せられた意見と市の対応について</p>
	2	運転免許証の自主返納制度への対応について	<p>① 当市においては、どのような対応を行っているか。</p> <p>② 高齢者等の自主返納を進めることは、交通安全施策の充実につながるものと考えているが、どのような認識を持っているか。</p> <p>③ 自主返納をされる方に、ちょこバスの無料乗車券を配布し、ちょこバス利用への誘導を図ることはできないか。</p>
	3	自転車の安全な運行を確保するための対策について	<p>① 自転車専用レーンの設置等について、現在まで、どのような対応が図られているのか。</p> <p>② 自転車の安全な通行を確保するために、どのように充実を図っていくのか。</p>

	4	小中一貫教育の事業展開の状況について	<p>① これまでの事業展開をどのように総括しているか。</p> <p>② 学力向上や生活規範の定着などの取り組みの状況について</p> <p>③ グループごとの名称の統一など、一体感を持って事業展開を行うための工夫のあり方をどのように考えるか。</p>
	5	ふるさと納税の対応について	<p>① どのような事業展開を検討しているか。</p> <p>② 当市の文化財である戦災建造物の保存のための活用ができないか。</p>
<p>9.尾崎 利一 11月19日 13:56</p>	1	安心して子育てできる環境整備について（保育、医療、教育環境を中心に）	<p>① 子育て世代の市民の暮らし向き、子育て環境について、市の認識を伺います。</p> <p>② 保育園待機児童の現状と市の対応について伺います。</p> <p>③ 学童保育の来春からの施策拡充について伺います。</p> <p>④ 来春からの「新制度」のもとで、保育料や学童保育育成料などを値上げしないよう求めます。いかがですか。</p> <p>⑤ 18才未満の医療費の無料化を求めます。いかがですか。</p> <p>⑥ 3月議会で小中学校の特別教室へのクーラー設置を求めたところ、教育委員会は「未設置の特別教室に設置は必要」「東京都の助成対象となる視聴覚室について計画に反映できるよう努めてまいります」と答弁しました。進捗状況を伺います。</p>
	2	高齢者の医療費助成について	<p>① 75歳以上の医療費窓口負担無料化へ向けて、半額助成制度から踏み出すよう求めます。いかがですか。</p>
	3	福祉施設やスポーツ施設などの拡充・運用について（とくに国有地、都有地、市有地などの活用について）	<p>① 市内にある利用されていない国有地・都有地について、現況と市の考え方、対応について伺います。</p> <p>② 米軍大和基地跡地で警視庁用地となった9ヘクタールのうち2ヘクタールが30年以上にわたって未利用のまま放置されています。基地返還時、当時の市長、市議会、市民がこぞって無償で市に返還するよう求めた土地です。市の発展を長年にわたって阻害してきた国と東京都の責任は重大です。当然、無償で市民利用に供されるべきです。市の対応について伺います。</p> <p>③ 舛添都知事は、7月31日の会見で、特養ホームや認可保育園など福祉施設の整備促進のため、都営住宅等の建て替えに伴い創出される用地から今後10年間で30ヘクタールを超える候補地を提供するとし、将来活用可能な都有地についても区市町村に情報提供し、都有地活用の準備を迅速に進めるとしました。特別養護老人ホーム、認可保育園増設など福祉施策の拡充、スポーツ施設等の拡充のため、急いで都営住宅空地などの活用計画を立てて交渉を開始すべきと考えますが、いかがですか。</p> <p>④ スポーツ環境の維持・拡充について9月議会以降の市の対応を伺います。</p>



		2 みどりのおばさんの復活について	② 自治会加入の必要性をどの様に考えているのか。 ③ 今後の市の課題と予定は
		3 東大和市駅前の信号について	① 無くなってからの状況は ② 現在どのように行っているのか。 ③ 現状の課題は ④ 今後の予定は
		4 各種届出の確認方法について（保育園申請時の勤務先や生活保護申請時やその後の生活状況確認など）	① 以前の一般質問でも要望したが、その後どのような検討を行ったのか。 ② 実施しているならば、どのようなことが分かったのか。 ③ 実施していないのであれば、なぜ、実施しないのか。 ④ 問題点や改善点についての考えと今後の予定は
12. 押本 修 11月20日 16:24	1	補助金について	① 東大和市商工会へ交付している補助金について ア 商店街への装飾灯維持等助成金についての市の考えは a 昨今の商店街を取り巻く急激な環境の変化を踏まえ、今後この補助金をどう扱っていくつもりか。
	2	防災について	① 大規模災害時の帰宅困難者対策について ア 東日本大震災発生時の状況と対応は イ 首都直下型地震発生時の被害想定と帰宅困難者数の予測について a 市が考えている帰宅困難者数は b これまでの対応について c 今後の対応について
13. 実川 圭子 11月21日 9:10	1	高齢者支援について	① 第6期介護保険事業計画の検討状況について伺う。市の実状に合った地域包括ケアシステム構築をどのように進めているのか。 ア 基本的な考え方について イ 地域資源の活用について ウ 行政・事業所・医療者・市民（ボランティア）・その他関係者のそれぞれの役割について ② 認知症の方とその家族など介護者を支えるための取り組みについて ア 認知症サポーター制度や防災無線の利用について イ 家族など介護者を支える取り組みについて
	2	人権尊重と平和事業について	① 男女共同参画推進計画における人権尊重の取り組みについて ア 学校生活における性差別の慣行の見直し・改善について

			<p>イ リプロダクティブ・ヘルス・ライツ理念の普及について</p> <p>ウ DVの防止に向けた、広報・啓発・情報提供をどのように行ってきたか。また、相談・支援体制について</p> <p>② 平和事業について</p> <p>ア 旧日立航空機株式会社変電所の利用について</p> <p>イ 子ども向けの平和事業について</p>
<p>14. 二宮 由子</p> <p>11月21日</p> <p>10:10</p>	1	<p>観光事業の推進について</p>	<p>① 「ゆるキャラグランプリ2014」の総括について</p> <p>ア 投票期間中の取り組みは</p> <p>イ 事業経費及び効果は</p> <p>ウ 今後の課題は</p> <p>② キャラクターの位置づけについて</p> <p>ア キャラクターを活用した取り組みは</p> <p>イ 友好都市交流への活用は</p> <p>ウ 今後の課題は</p> <p>③ 第4回TOKYOウオーク2014について</p> <p>ア 大会運営及び実施内容は</p> <p>イ 開催に向けての対応は</p> <p>ウ 今後の課題は</p>
<p>15. 西川 洋一</p> <p>11月21日</p> <p>10:18</p>	1	<p>自然再生エネルギー活用施策の推進について</p> <p>特に、太陽光発電等自然再生エネルギー利用機器等設置に対する助成制度の創設について</p>	<p>福島原発の事故は、いろいろなことを私たちに教えてくれました。一度事故が起これば、取り返しのつかない大惨事になること、又、原発がなくても電力は賄えること等です。</p> <p>原子力発電による電力がゼロになって1年余りとなり、2回の夏をのりこえました。原発による電力がなくても暮らしに支障がないことが証明されました。</p> <p>政府は、原発の再稼働へと政策を進めていますが、福島原発事故の経験を学んでいないと言えます。国民の多数の声に応じて、原発ゼロのエネルギー政策への転換を求めるものです。</p> <p>同時に、地方自治体（東大和市）も自然再生エネルギー活用のための施策を積極的に進めていくべき時と思います。</p> <p>原発ゼロのエネルギー政策への転換に向かって市も直ちに施策の展開をすべきですが、いかがですか。</p> <p>① 一度、原発事故が発生すれば、取り返しのつかないこととなります。使用済み核燃料の最終処理もできない状況です。この認識に立てば、原発ゼロのエネルギー政策への転換がどうしても必要です。国に求めるとともに、地方自治体でもエネルギー対策を推進すべきですがいかがですか。</p> <p>② 市は自然再生エネルギー活用の必要性を認めているといますが、いっこうに進展が見られません。どういう理由によるものですか。</p> <p>③ 太陽光発電等と自然再生エネルギー利用について、東大和市内で実施できる設備にはどのようなものがありますか。市民がそれらを設置しようとするとき、助成することはできませんか。</p> <p>④ 太陽光発電システムを設置し、東電が電力を購入した件数が、24年度から25年度の1年間で161件ふえているとの答弁がありました。市民の中には、自然再生エネルギーへ向かっていく意欲があると思います。市は、市民の意欲をどう認</p>

	2	学校施設を改善し、教育環境を整えることについて	<p>識していますか。そしてどう対応しようとしていますか。</p> <p>① 給食中の教室まで臭うトイレの悪臭、雨漏りにバケツを置く体育館、デコボコの校庭等、教育現場がこれでいいのか、と思うような状況があります。</p> <p>市は状況を把握していると思いますが、これらの改善計画について伺います。</p>
16. 和地 仁美 11月21日 10:24	1	市民協働について	<p>① 市の考える市民協働について</p> <p>ア 現在、市民協働の指針を作成しているが、それはどのような位置づけになり、それができたことによってどのような効果が期待できるものなのか。</p> <p>イ 市民と行政が協働する方法は様々あると思うが、どのような方法が考えられるか。</p> <p>② 現状について</p> <p>ア 現在の市民協働の取組はどのようなものがあるか。</p> <p>イ 市が考えている市民協働の方法（上記①イ）のなかで、現在まだ取り組めていないものは何か。また、その課題と課題を解決する方法について今後取り組むべきことは何か。</p> <p>ウ 現在、実現している協働についての課題はあるか。</p>
	2	東大和市の学力向上のための取り組みについて	<p>① 平成26年10月29日の教育の日やまとの企画として開催された『学力向上 東大和市の取り組み』について</p> <p>ア アメリカンサマーキャンプ参加者の発表があり、非常に効果があると感じた。教育委員会としてはどのように効果を分析し、今後、どのように活用し、広がりを持たせようとしているのか。</p> <p>イ 全国学力・学習状況調査の結果から、どのような課題があると分析しているのか。また、その解決策は</p> <p>ウ 各中学校区の取り組みについての発表について、どのような発表内容を要望したのか。</p> <p>エ この会を開催したことで、新たに発見できた課題はあるか。</p>
17. 中村庄一郎 11月21日 11:22	1	増税先送りで財源不足が懸念される社会保障制度改革について	<p>① 増税先送りで財源不足が懸念される社会保障制度改革に関し社会保障の充実メニューが全て出来ることが難しくなって来ている。</p> <p>ア 子ども・子育て支援新制度について東大和市の対応と考えを伺う。</p> <p>イ その他の社会保障制度に関する影響を伺う。</p>
18. 森田 真一 11月21日 11:45	1	ちよこバスの運行ルート変更・乗車料金の値上げについて	<p>ちよこバスの運行ルート変更・乗車料金体系の変更について現在の進捗状況を伺います。</p>
	2	東京街道団地の高齢者の生活支援について	<p>入居者の高齢化が著しい東京街道団地での高齢者への生活支援について伺います。</p> <p>① 今春開設した「高齢者見守りぼっくすしんぼり」の利用状況は</p>



	3	第6期介護保険事業計画の見通しについて	<p>② 東京街道団地の北西側の棟からは肉・野菜・魚などの生鮮食品を購入できる店舗が半径500メートル以内にはありません。買い物の支援策の必要があるのではないのでしょうか。また、市の中央部の診療所等への通院に利用できる支援策は</p> <p>③ 別居の家族による見守りの支援として団地内の駐車場の空きスペースを臨時駐車場として整備してほしいという要求を多く聞きます。都に働きかけできないか。</p> <p>厚労省は、今年7月に医療・介護総合確保法の具体化に向けたガイドライン案・告示案・政省令案などを明らかにしました。第6期介護保険事業計画の見通しについて伺います。</p> <p>① 低所得層の介護保険料の軽減策を消費税10%にした増税分を財源に充てるとしていたため宙に浮いています。しかしその予算は1,300億円に過ぎません。仮に同様のことを市単独で行うとすればどの程度の財源が必要になるのですか。</p> <p>② 要支援認定の際に同じ方が要支援2と要介護1との間を行き来するケースは利用者全体でどの程度あるのですか。</p> <p>③ 新制度では、新たにサービス利用をしようとする方が要介護認定を行う前に窓口で要支援1・2相当と見なされ認定を経ないで新総合事業を利用するようにされてしまうことがある。また、一定の目標を達したと判断され介護保険の給付からボランティアによるサービスへの移行を要求することもあるといわれています。利用者の申請権や受給権を狭める事がないよう努めることが求められますが、いかがですか。</p> <p>④ 新制度では特養ホームの入居対象は原則要介護3以上、要介護1・2の方は勘案条件に合致しないと特例の対象にならないとされています。単身者や虐待・高齢・病弱などで同居家族による介護が困難など例示されていますが、仕事などで介護する余裕がない家族の場合などはどのように判断されるのですか。</p> <p>⑤ 来年4月から、住民税課税世帯を対象に、特養ホームの相部屋の部屋代を全額実費徴収、光熱費負担分も引き上げると報じられています。また、来年8月より低所得の入居者の居住費・食費を軽減する補足給付も資産調査を行い縮小・打ち切りとなると言われていました。高額介護サービス費限度額も引き上げられます。年所得160万円以上の方の2割負担の導入は、報道でも医療保険の水準と比べて保険料設定が高いとされています。しかも厚労省はいきなり3割負担は厳しいだろうから当面2割負担と言っているといえます。際限のない負担増と利用抑制につながらないのでしょうか。高齢者が介護サービスから排除されないようにすべきと考えます。いかがでしょうか。</p> <p>⑥ 要支援サービスの新総合事業への移行は、自治体やサービス事業所・ボランティア団体の関係者</p>
--	---	---------------------	---

	4	丘陵地の土砂災害対策について	<p>からもこのまま実施させていいのかという声が噴出しています。自治体の判断として2017年3月末まで現行のまま継続すべきと考えます。いかがでしょうか。</p> <p>今年8月に広島市で発生した土砂災害により、都市部の急傾斜地での対策に関心が集まっています。市北部の丘陵地での土砂災害対策についていかがいます。</p> <p>① 10月下旬に8カ所の土砂災害危険箇所周辺の住民180世帯に「土砂災害危険箇所等のお知らせ」が配布されましたが、当該住民からの問い合わせなどはありましたか。</p> <p>② 5年前の総務委員会の所管事務調査では周辺住民に対し市から積極的に情報提供するのは難しいということだったがその後位置づけは変わってきたのですか。</p> <p>③ 土砂災害危険箇所のうち急傾斜地崩壊危険区域に指定されている所はあるのですか。</p> <p>④ 昨年日野市や横浜市で起こった様な「都市型土砂災害」と呼ばれるようなタイプの災害が市内でも発生する可能性はあるのですか。</p> <p>⑤ 狭山3丁目の都立東大和公園東側の斜面には谷里保育園がかかっています。どのような対策が行われているのですか。</p>
--	---	----------------	---